

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成22年11月25日(2010.11.25)

【公開番号】特開2009-254843(P2009-254843A)

【公開日】平成21年11月5日(2009.11.5)

【年通号数】公開・登録公報2009-044

【出願番号】特願2009-158916(P2009-158916)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 7 A

A 6 3 F 7/02 3 3 4

【手続補正書】

【提出日】平成22年10月7日(2010.10.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技機本体と、その前面側に当該遊技機本体に対して開閉される開閉部材とを備え、該開閉部材の施錠を行う施錠装置を設けた遊技機において、

前記施錠装置は、前記開閉部材の施錠位置と解錠位置とに移動可能な施錠部材と、外部操作手段の操作に連動して前記施錠部材を前記施錠位置から解錠位置へ移動させる移動部材と、前記移動部材及び施錠部材を支持する基枠とを備え、

前記開閉部材に前後方向への所定の厚みを有する台座部を設けるとともに、前記基枠を前記台座部に固定することにより、前記施錠部材を、前記遊技機本体に対して開閉部材を閉じた状態において当該遊技機本体と開閉部材との遊技機側方からみた境界部位よりも後方へ配置させ、更に当該遊技機本体と開閉部材との遊技機側方からみた境界部位側へ開口する凹部を設けたことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

遊技機本体と、その前面側に当該遊技機本体に対して開閉される開閉部材とを備え、該開閉部材の施錠を行う施錠装置を設けた遊技機において、

前記施錠装置は、前記開閉部材の施錠位置と解錠位置とに移動可能な施錠部材と、外部操作手段の操作に連動して前記施錠部材を前記施錠位置から解錠位置へ移動させる移動部材と、前記移動部材及び施錠部材を支持する基枠とを備え、

前記開閉部材に前後方向への所定の厚みを有する台座部を設けるとともに、前記基枠を前記台座部に固定することにより、前記施錠部材及び移動部材を、前記遊技機本体に対して開閉部材を閉じた状態において当該遊技機本体と開閉部材との遊技機側方からみた境界部位よりも後方へ配置させ、更に当該遊技機本体と開閉部材との遊技機側方からみた境界部位側へ開口する凹部を設けたことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明は、以上例示した事情等に基づいてなされたものであり、開閉部材を施錠する施錠装置を備えた遊技機において、不正な解錠を抑制することを目的とするものである。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

上記目的を達成するため、請求項1に係る発明では、遊技機本体と、その前面側に当該遊技機本体に対して開閉される開閉部材とを備え、該開閉部材の施錠を行う施錠装置を設けた遊技機において、

前記施錠装置は、前記開閉部材の施錠位置と解錠位置とに移動可能な施錠部材と、外部操作手段の操作に連動して前記施錠部材を前記施錠位置から解錠位置へ移動させる移動部材と、前記移動部材及び施錠部材を支持する基枠とを備え、

前記開閉部材に前後方向への所定の厚みを有する台座部を設けるとともに、前記基枠を前記台座部に固定することにより、前記施錠部材を、前記遊技機本体に対して開閉部材を閉じた状態において当該遊技機本体と開閉部材との遊技機側方からみた境界部位よりも後方へ配置させ、更に当該遊技機本体と開閉部材との遊技機側方からみた境界部位側へ開口する凹部を設けたことを特徴とする。

請求項2に係る発明では、遊技機本体と、その前面側に当該遊技機本体に対して開閉される開閉部材とを備え、該開閉部材の施錠を行う施錠装置を設けた遊技機において、

前記施錠装置は、前記開閉部材の施錠位置と解錠位置とに移動可能な施錠部材と、外部操作手段の操作に連動して前記施錠部材を前記施錠位置から解錠位置へ移動させる移動部材と、前記移動部材及び施錠部材を支持する基枠とを備え、

前記開閉部材に前後方向への所定の厚みを有する台座部を設けるとともに、前記基枠を前記台座部に固定することにより、前記施錠部材及び移動部材を、前記遊技機本体に対して開閉部材を閉じた状態において当該遊技機本体と開閉部材との遊技機側方からみた境界部位よりも後方へ配置させ、更に当該遊技機本体と開閉部材との遊技機側方からみた境界部位側へ開口する凹部を設けたことを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

本発明によれば、開閉部材を施錠する施錠装置を備えた遊技機において、不正な解錠を抑制することができる。